



## 病院の概要

開設	昭和60年2月
開設者	公益財団法人筑波メディカルセンター
院長名	軸屋 智昭
病床数	453床
標榜科 (22科)	内科、外科、小児科、整形外科、循環器内科、 心臓血管外科、脳神経外科、脳神経内科、 呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、 消化器外科、乳腺外科、泌尿器科、婦人科、 リハビリテーション科、麻酔科、放射線科、 病理診断科、放射線治療科、救急科、 緩和ケア科
医師数	137人(常勤)
指導医数	52人
研修医数	25人(基幹型17人、協力型8人)
研修医の主な 出身大学	福島県立医科大学、北里大学、杏林大学、 筑波大学、弘前大学、旭川医科大学、秋 田大学、昭和大学 他
外来患者数	497人/日
入院患者数	381人/日

## 募集要項

応募資格	2020年3月国家試験合格見込者もしくは、医師 臨床研修マッチングに参加資格を有する者
採用人数	10人(予定)
試験日程	2019年8月・9月(予定)
選考方法	グループディスカッション・面接
処遇	<ul style="list-style-type: none"> <li>■身分：正職員(臨床研修科)</li> <li>■給与：1年次 基本30万/賞与あり 2年次 基本36万/賞与あり</li> <li>■社会保険：有り ■住宅手当：月額25,000円上限</li> </ul>
見学	随時受付(土日祝日・12/28～1/4除)

## 病院見学対応状況

- 見学時間…随時(平日)
- 対象…全学年
- 宿泊…近隣の宿泊施設を紹介
- 問い合わせ先…担当者：人事課 木村  
TEL：029-851-3511  
E-mail：kensyu@tmch.or.jp



## 応募・問合せ先

### 筑波メディカルセンター病院

〒305-8558 つくば市天久保1-3-1  
 担当者：総務部 人事課 木村 照子  
 TEL：029-851-3511(代)  
 FAX：029-858-2773  
 E-mail：kensyu@tmch.or.jp  
 URL：http://www.tmch.or.jp/hosp/index.html



## 女性医師支援

筑波メディカルセンター病院では、女性が働きやすい環境を第一に考え、産休、育児休暇、育児短時間勤務、当直免除等の制度を整備しています。  
 また、保育園・病児保育室も完備し、育児しながら働く場の提供を行っています。

## 研修プログラムの特色

救命救急センターとして、主に救急診療科や総合診療科が年間約 40,000 人の救急患者と 5,000 台を超える救急車に対応しています。初期～3次の救急患者や common disease の診断治療およびその後のマネージメントを通じて地域の医療機関との連携に配慮した医療を理解し、実践することができます。

### 研修スケジュール例 4月当初は全体オリエンテーションから開始します。

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科						救急			選択	外科	
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	精神	地域	選択		小児		選択		産科	選択		

- 内科 (必修) 24 週間 (6 ヶ月) 主に入院患者の検査・治療を中心に臨床医として必要な基本的スキルを習得する。
- 外科 (必修) 8 週間 (2 ヶ月) 主に入院患者の診療と手術参加を通して、基本的な診療スキルと手術適応や外科的技法、周術期管理などについて習得する。
- 小児科 (必修) 8 週間 (2 ヶ月) 外来診療および入院患者の診療を通して、診療方法、基本的検査の選択と評価、治療手技、薬用量、小児保健などについて習得する。
- 産婦人科 (必修) 8 週間 (2 ヶ月) 協力病院での院外研修。
- 精神科 (必修) 4 週間 (1 ヶ月) 協力病院での院外研修。
- 救急 (必修) 12 週間 (3 ヶ月) 主な救急疾患の病態を理解し、救急現場で最も適切な処置を迅速・確実に実施するために必要な基本的スキルを習得する。
- 地域医療 (必修) 4 週間 (1 ヶ月) 協力施設である複数の診療所での地域医療の現場を経験する。外来研修や在宅医療研修を行う。
- 外来研修 (必修) 4 週間 (20 日間) 院内の内科研修、小児科研修、および地域医療研修期間での並行研修を予定。
- 選択 28 週間 (7 ヶ月) 院内および協力病院での自由選択研修。

### 専門研修の募集について

「救急科」「総合診療科」で専攻医を募集しております。詳細はホームページをご参照ください。

募集診療科	選考方法
救急科・総合診療	面接

### 研修・認定施設一覧

- ・日本内科学会認定医教育関連病院
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本救急医学会指導医指定施設
- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ・日本外傷学会外傷専門医研修施設
- ・日本航空医療学会認定指定施設
- ・日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本緩和医療学会認定研修施設
- ・日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
- ・日本核医学会専門医教育病院
- ・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ・日本アレルギー学会認定教育施設 (呼吸器内科・小児科)
- ・日本小児科学会小児科専門医研修施設
- ・日本脳神経外科学会専門医研修施設
- ・日本脳卒中学会認定研修教育病院
- ・日本神経学会専門医准教育施設
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ・日本心血管インターベンション治療学会研修施設
- ・日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医研修施設
- ・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
- ・関連 11 学会構成ステントグラフト実施基準管理委員会腹部・胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医基幹施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会専門医認定施設
- ・日本乳癌学会認定医・専門医認定施設
- ・マンモグラフィ検診精度管理中央委員会マンモグラフィ (乳房エックス線写真) 検診施設
- ・日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会エクスパンダー実施施設 (一次再建)・インプラント実施施設 (一次一期再建)
- ・日本消化器病学会専門医認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会専門医指導施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・日本大腸肛門病学会認定施設
- ・日本消化管学会胃腸科指導施設
- ・日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設基幹教育施設
- ・日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設
- ・日本整形外科学会専門医研修施設
- ・日本リハビリテーション医学会研修施設
- ・日本手外科学会手外科専門医関連研修施設
- ・日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
- ・日本病理学会病理専門医研修認定施設 B
- ・日本臨床検査医学会臨床検査専門医認定研修施設
- ・日本臨床細胞学会教育研修施設
- ・日本臨床細胞学会施設認定
- ・日本感染症学会連携研修施設
- ・日本環境感染症学会認定教育施設
- ・日本静脈経腸栄養学会 NST (栄養サポートチーム) 稼働施設
- ・日本栄養療法推進協議会 NST (栄養サポートチーム) 稼働施設
- ・日本脈管学会認定研修関連施設

## 病院からメッセージ



**研修責任者**  
鈴木 将玄 臨床研修部長

「いかなる状況でも目の前の患者さんと真摯に向き合える医師を養成する」これが当院の臨床研修の理念 (= どういう医師を育てるのか、という病院の強い意思) です。当院は救命救急センターや地域がんセンターを有する地域中核病院であり、この理念のもと、病院全体で研修医を育てる空気があります。

当院のDNAは救急にあり。物事は分単位で進みスピード感があります。そんな中でもきちんとバックアップ体制があり、ERで研修医はトコトン鍛えられます。他にも教育的イベントは多数あり、様々な方法でスキルアップ出来るよう工夫されています。

出身大学関係なし！県内随一の臨床研修を提供いたします。是非一度見学に来て、その一端を体感してください！



**研修医**  
森 早諭里

医学生の皆さん、研修医が医療を教わるのは上級医からだと思いませんか？目の前で修羅場をくぐり抜ける上級医はもちろん眩しい存在です。しかし実際はベテランナースに診療をリードされたり、コメディカルスタッフからアドバイスを頂くこともしばしば。ここは病院全体に新人を育てる熱意があり、研修医が飛び込んでいくのに相応しい現場力があると感じます。研修医が主体的に動くことを求められるぶん失敗することもあります。環境のありがたみを本当に実感できるのは、ただただ楽しい毎日よりも失敗から学ぶことがあった時だと私は思います。医師としての基盤を作る初期研修、その勝負の2年間のスタートダッシュをここで切ってみませんか。